

# 「鎮守の森」全県土に

野中朋之 80

(高知市城見町)

9月18日の本紙で、南国市沿岸域で「鎮守の森」活動が始まるとの記事を、うれしく読みました。公益財団法人「鎮守の森プロジェクト」の活動ですが、宮脇昭・横浜国立大学名誉教授が提唱し指導してきたものです。

地方では、震災で生じた瓦礫の丘に盛り土して植樹する300キに及ぶ「鎮守の森プロジェクト」が進行中です。

横濱国大正面玄関の防災林成長写真で、10〜20年で立派な防災林ができることがわかります。それらはインターネットの「鎮守の森プロジェクト」と宮脇教授の著書に詳しく解説されています。

私は2008年、教授の講演に「これぞ環境重視でしかも市民参加の防災活動だ」と感動しました。教授は野外での調査研究、植樹実践で世界に認められた学者です。

南国市と協賛のAIU損保社に敬意を表するとともに、本県の他地域においても研究を始められますことを切望します。

防潮防災林には、その土地に古代より自生する樹種を選び、密植混植を勧めて

います。

東日本大震災で樹木がなぎ倒された中、鎮守の森だけは元の姿で残り、防災効果が実証されました。東北地方では、震災で生じた瓦礫の丘に盛り土して植樹する300キに及ぶ「鎮守の森プロジェクト」が進行中です。